

[6] 課題の整理

市民アンケートの結果から、中心市街地の活性化において主に次のような課題がうかがえる。

- 1 中心市街地の魅力減少
- 2 岡島・ココリ周辺、中心商店街エリアでの事業効果が薄い
- 3 商業施設の充実不足
- 4 駐車場が不便になった
- 5 居住エリアとしての中心市街地に魅力が少ない

これに加え、中心市街地まちづくり会議、甲府タウンレビューチームからの提言等を参考に、次のように課題を整理する。

1 中心市街地の魅力減少

中心市街地への主な来訪動機は「行きたくなる店や施設」「買いたい商品」「イベント」「まち魅力向上」などであり、そのために必要と考える施設は「大型駐車場」「核となる大型店」であるが、甲府駅北口エリアでは県立図書館やよっちゃばれ広場、藤村記念館、甲州夢小路などの整備により、人の集まる施設が形成され、それらを活用した地域等の活動などにより賑わいが創出され、併せてオリオンスクエア周辺でもアーケードの整備とこれを活用した地域等の活動により、魅力向上の面である程度の課題解決が図られたが、中心商店街エリアでは、これらへの対応が十分ではなかった。

そのため、北口から岡島百貨店付近までの間には新たな人の流れを生むことができたが、以南のエリアでは魅力を向上させることができていない。

2 岡島・ココリ周辺、中心商店街エリアでの事業効果が薄い

このエリアでは個々の事業に連携性を持たせることができず、活性化に意欲を持った店舗等の進出がありながら、民間のやる気を実現するための土壌が整っていなかったため、北口エリアやオリオンスクエア周辺のように、大きなうねりにつながっていない。

このことは、中心市街地まちづくり会議からの、民間側の存在感が薄い、事業効果が成果に結びついていない、施設を活用するソフトの部分が不足等の指摘、また、甲府タウンレビューチームからの、民間のやる気を引き出すための仕掛けが必要といった指摘にも現れている。

3 商業施設の充実不足

中心商店街エリアに位置する、ココリの空き床問題や、空きビルとなっている甲府銀座ビルについては、甲府タウンレビューチームもボトルネックと指摘しているように、中心商業の向上を阻害する大きな要因となっていることから、この解消は大きな課題である。

また、大規模店舗との連携についても指摘されており、中心商業の中核を成す岡島百貨店が周辺に及ぼす影響に配慮し、まちと一体となって魅力向上に取り組むことも課題のひとつとして挙げられる。

併せて、観光・文化施策の戦略的展開も課題として指摘されており、今後、県内・国内にとどまらず、海外からも多くの来街者を呼び込むため、商業の振興のみならず、日本ら

しさ、甲府らしさを景観などに現し、歴史や文化、芸術の薫り高い、人の集うまちの形成が課題となっている。

4 駐車場が不便になった

駐車場の使い勝手の悪さは、昨今の小規模機械式駐車場の増加に起因し大型駐車場へのニーズにつながっていると考えられる。

1期計画において取り組んだ駐車場関係事業は、「セントラルパーク設置調査・検討事業」、「桜町四丁目駐車場整備事業」、「共通駐車場システム構築事業」などがあるが、実施主体が施設の耐震化を優先させるなどにより事業計画を見直したことや、新たな投資をして新規事業に取り組むという地元の気運が高まらなかったこと、当時の駐車場管理会社の一部の管理システムに互換性を持たせるために、多額の費用がかかってしまうことなどにより関係者間の調整ができず、いずれもその先にステップアップできなかった。

このことは、甲府タウンレビューチームにおいても、効果的な駐車場・駐輪場の配置の検討の必要性を指摘されているところ。

5 居住エリアとしての中心市街地に魅力が少ない

中心に住むメリットでは、駅に近い、車を使わないで生活できるといった点が挙げられているが、前回アンケートと比較して若干減少したものの、中心市街地に住みたくないという回答は依然多い。

甲府タウンレビューチームでも指摘されているように、居住環境の整備、緑化、広場の整備など、居住のための快適な環境づくりが課題である。